

令和 7 年産特産果樹の生産概況

1 気象（五戸：りんご研究所県南果樹部）

（1）積雪深

今冬は、県南地域では積雪が少なく経過したものの、津軽地域を中心に豪雪に見舞われた。五戸の積雪深は、令和 6 年12月中旬から 1 月中旬頃までは平年を上回って推移したが、その後はほぼ平年より少なく推移した。最深積雪深は 2 月14日の33cm（平年29cm）であった。消雪日は平年より 4 日遅い 3 月22日であった。

（2）気温

平均気温は、4 月、5 月はほぼ平年並となったが、6 月から 9 月にかけて平年より高く推移し、特に 6 月から 7 月は 6 月第 1 半旬を除いてかなり高く推移した。真夏日は計40日で、猛暑日はなかった。

（3）降水量

降水量は、4 月から 5 月まで平年を上回って推移したが、6 月、7 月は平年を下回り、特に 7 月の総降水量は57.5mm（平年比35%）とかなり少なかった。8 月から10月にかけては突発的な強雨が多かった。総降水量は、4 月から10月までが803.5mm（平年比95%）とやや少なかったものの、8 月は257.5mm（平年比173%）とかなり多かった。

（4）日照時間

日照時間は、4 月、5 月は平年並から少ない傾向であったが、6 月から 9 月をとおして概ね平年より多く推移した。4 月から10月の総日照時間は1,368時間（平年比130%）であり、特に 6 月が平年比199%、7 月が192%、8 月が158%と多かった。

2 主要果樹の生育経過等

（1）ぶどう

【キャンベル・アーリー（無加温ハウス）】

ア 生育ステージ

発芽日は、三戸町（県生育観測ほ）で平年より 3 日遅い 4 月 8 日、開花日は平年並の 5 月 15 日、着色日も平年並の 7 月 18 日であった。

イ 作柄

平均房重（以下、房重）は305g（平年比98%）で平年をやや下回り、10 a 当たりの房数（以下、房数）も8,444（平年比89%）で平年を下回ったことから、10 a 当たりの推定収量（以下、収量）は2,570kgと平年を下回った。

ウ 病害虫の発生状況
全般に少なかった。

【キャンベル・アーリー（露地）】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より2日早い4月25日、三戸町（県生育観測ほ）で3日早い4月22日であった。開花日は、五戸で平年より2日早い6月16日、三戸町で3日早い6月10日であった。

着色日は、五戸で平年より7日早い8月12日、三戸町で6日早い8月8日であった。収穫始めは、五戸で平年より9日早い9月3日であった。

イ 作柄

房数は7,653（平年比92%）と平年を下回ったが、房重が315g（平年比116%）と平年を上回ったため、推定収量は2,406kgと平年を上回った。

ウ 病害虫の発生状況
全般に少なかった。

【スチューベン】

ア 生育ステージ

発芽日は、黒石（りんご研究所）で平年より4日早い4月25日、弘前市（県生育観測ほ）で4日早い4月24日、鶴田町（県生育観測ほ）で3日早い4月27日であった。開花日は、黒石で平年並の6月16日、弘前市で1日早い6月15日、鶴田町で2日早い6月17日であった。

着色日は、黒石で平年より11日早い8月14日、弘前市で7日早い8月17日、鶴田町で8日早い8月19日であった。収穫始めは、弘前市で平年より7日早い9月25日、鶴田町で11日早い9月15日であった。

イ 作柄

房重は268g（平年比101%）とほぼ平年並であったが、房数は7,873（平年比106%）と平年を上回ったため、推定収量は2,088kgと平年を上回った。

ウ 病害虫の発生状況

晩腐病の発生が一部園地でやや多かった。黒とう病が放任園周辺で散見された。津軽地域でコガネムシ類による葉の食害が散見された。

（2）おうとう

【佐藤錦】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より5日早い4月17日、弘前市（県生育観測ほ）で3日早い4月19日、南部町（県生育観測ほ）で3日早い4月13日であった。開花日は、五戸で平年より1日早い4月30日、弘前市で平年並の5月1日、南部町で平年並の4月25日であった。

着色日は、五戸で平年より4日早い6月10日、弘前市で3日早い6月10日、南部町で2日遅い6月11日であった。収穫始めは、弘前市で平年より2日早い6月25日、南部町で平年並の6月20日であった。

イ 着果状況

一花束状短果枝当たりの着果数は、県南地域が1.64果（平年比86%）、津軽地域が1.81果（平年比90%）であった。

ウ 病害虫の発生状況

幼果菌核病が一部園地で見られた。県南地域で褐色せん孔病が散見された。ナミハダニが一部園地でやや多かった。カメムシ類が散見された。

【ジュノハート】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より5日早い4月17日であった。開花日は、五戸で平年並の5月1日であった。

着色日は、五戸で平年より5日遅い6月15日であった。

イ 着果状況

一花束状短果枝当たりの着果数は、県南地域が1.23果（平年比105%）、津軽地域が2.9果（平年比149%）であった。

ウ 病害虫の発生状況

幼果菌核病が一部園地で見られた。県南地域で褐色せん孔病が散見された。ナミハダニが一部園地でやや多かった。カメムシ類が散見された。

（3）もも

【川中島白桃】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より1日遅い4月17日、平川市（県生育観測ほ）で3日遅い4月19日、南部町（県生育観測ほ）で平年並の4月7日であった。開花日は、五戸で平年より2日早い5月1日、平川市で3日早い4月26日、南部町で1日早い4月24日であった。

収穫始めは、平川市で平年より3日早い8月28日、南部町で1日早い8月26日であった。

イ 果実肥大（横径）

最終調査時の横径は、五戸が8月20日時点で8.5cm（平年比120%）であった。

ウ 病害虫の発生状況

せん孔細菌病が散見された。ナミハダニが一部園地でやや多かった。カメムシ類がやや多かった。ウメシロカイガラムシが散見された。津軽地域でナシマルカイガラムシが散見された。県南の一部地域でモモハモグリガがやや多かった。

（4）西洋なし

【ゼネラル・レクラーク】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より3日早い4月7日、南部町（県生育観測ほ）で平年並の4月6日であった。開花日は、五戸で平年より1日早い5月3日、南部町で1日早い5月1日であった。

収穫始めは、五戸で平年より4日早い9月17日、南部町で9日早い9月8日であった。

イ 果実肥大（横径）

五戸における最終調査時（9月20日）の横径は、9.8cm（平年比111%）であった。

ウ 果実品質

五戸の収穫時（9月20日）における果実品質は、1果重、表面色指数、地色指数、ヨードでんぷん反応指数、糖度、酸度は平年より高く、硬度は平年より低かった。

エ 病虫害の発生状況

県南地域の一部園地でナシマルカイガラムシがやや多かった。県南地域の放任園周辺の一部園地でシンクイムシ類の発生がやや多かった。

（5）うめ・あんず

【うめ（豊後）・あんず（八助）】

ア 生育ステージ

五戸では、発芽日は、うめ（豊後）が平年より1日早い3月19日、あんず（八助）が5日早い3月28日であった。開花日は、うめが平年より3日早い4月17日、あんずが5日早い4月17日であった。

イ 病虫害の発生状況

全般に少なかった。

※令和8年特産果樹生産情報第1号は、令和8年4月上旬に発表予定。